

いけだ駅前の未来について、みんなで考えてみた件。

いけだ まちづくり + 未完成 ビジョン



ビジョン編 概要版

いけだ駅前 未来ビジョン Vol.0

あなたも一緒に、未来ビジョンを作りあげてみませんか。

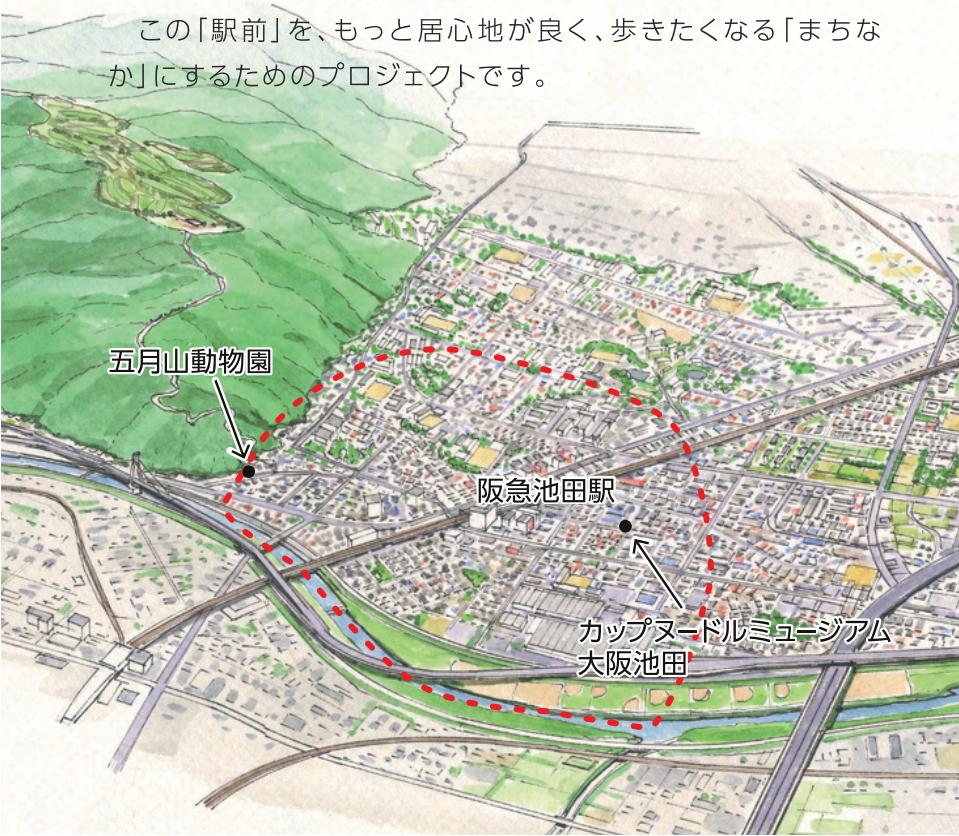
著=いけだエリアプラットフォーム

対象エリアについて

歩いて楽しめる半径1km圏内を「いけだ駅前」と考えてみる

市の玄関口となる阪急池田駅と、それに交差する形で市を南北に貫くメインストリート・さくら通り。五月山動物園から阪急池田駅、そしてカップヌードルミュージアム大阪池田あたりまでを、広い範囲で「駅前」と捉えてみましょう。

この「駅前」を、もっと居心地が良く、歩きたくなる「まちなか」にするためのプロジェクトです。



なんで「未完成」ビジョンなん?

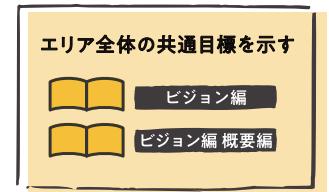
まちづくりに終わりではなく、活動するプロセスそのものがまちづくりだという思いを込めて「未完成ビジョン」と名付け、「みんなで使い続けながら日々進化していくビジョン」にしたいと思っています。



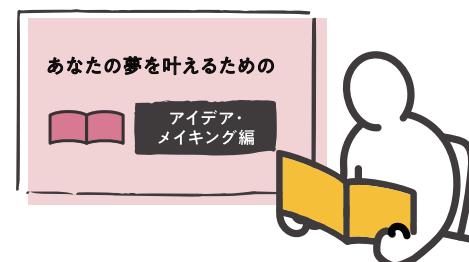
一人ひとりの未来ビジョンが重なり大きな「いけだ駅前の将来像」ができる

この未来ビジョンは、エリア全体の共通の目標を示す「ビジョン編」と、あなたの夢を叶えるための「アイデア・メイキング編」(ワークブック式)とに分かれています。

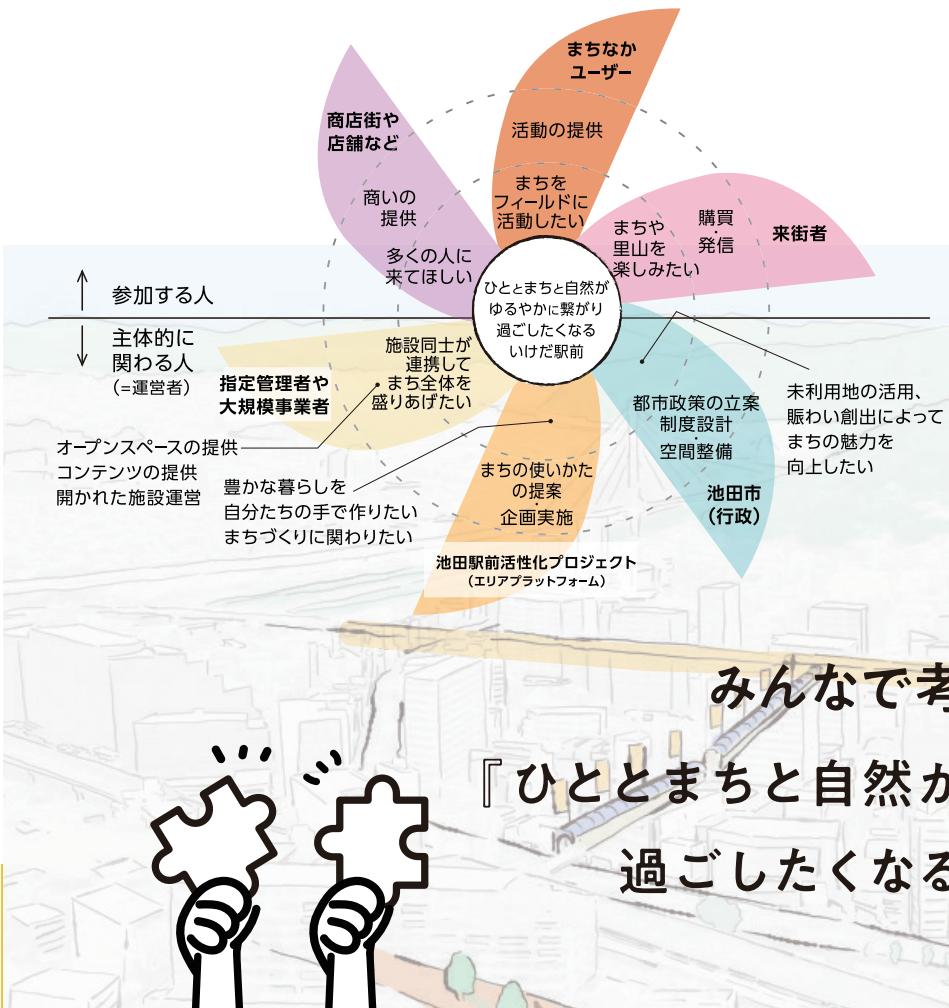
ビジョンを手に取って、あなたの想いや夢を共有してください。一人ひとりの「アイデア」を共通の「ビジョン」に反映させていきたいと考えています。



↓↑ みんなの意見を
ビジョン編に反映



いけだ駅前の将来像とステークホルダーの関わり



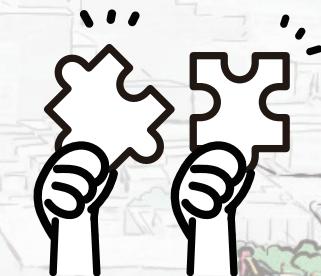
阪急池田駅を一歩出ると、みどりを感じられる居心地の良い駅前空間が出迎え、買い物にも休憩にも待ち合わせにも、ゆったりと思い思いの時間を過ごすことができます。

そこからまちへ繰り出すと、商いや生業の賑わいや活気があり、そこに暮らす人々の生活感や文化を感じられるまちなみを、歩いて楽しむことができます。

2本のストリートのハブとなるまちなか拠点や点在する個性的な店舗、施設といったお気に入りの場所で過ごしたり、いけだ駅前を包み込む五月山へ少し足を延ばすことでみどり豊かな自然のひとときを楽しむこともできます。

みんなで考えた将来像

『ひととまちと自然がゆるやかに繋がり
過ごしたくなるいけだ駅前』



サカエマチ商店街など駅前商業集積の方向性 歩いて楽しい観いて楽しい 会話が生まれる、安心できる関係の商業集積へ



店舗とお客様のあいだや、新旧の店舗のあいだで会話が生まれやすい商店街にすること、公共空間と商業施設とが協働して「駅前空間」を育てていくことを目標とします。

賑わいのイメージ

サカエマチ商店街では、空き店舗をチャレンジショップとして貸し出すなどして新旧が上手く融合し、新陳代謝が生まれています。さらに、顔馴染みの人に会ってつい井戸端会議が始まってしまうような、歩きやすく・立ち止まりやすい軒先空間への工夫がなされています。駅前の商業施設では、ショッピングはもちろん、毎日立ち寄って楽しく、待ち合わせ・出先でのPCリモートワーク・家族のお出掛けなどの様々なシーンに寄り添えるよう、官民の敷地を繋いだ空間づくりを作ります。

せせらぎモールなど阪急南線の方向性

過ごしたくなる空間へ 滞在空間をリニューアル



目的

商業施設(民地)と道路空間とを緩やかに繋ぎ、活気ある使われ方ができる余地を生み出しながらも、ベンチなどの設置や植栽の再配置により滞在しやすい空間を作ります。サンシティ前から高架下、ステーションNまで全体の一体性を高めながら、ウォーカブルな空間の拡張整備を行います。

賑わいのイメージ

親子の「駅前デビュー」向け空間で子どもが安全に遊べたり、市民が気軽にチャレンジショップを開催できたり。親水空間と店舗軒先が緩やかにつながった空間では、オープンカフェやベンチでくつろいだりワークしたり。駅前にふさわしい様々なスタイルの賑わいが創出されます。

みんなで考えた将来像 『ひととまちと自然がゆるやかに繋がり 過ごしたくなるいだ駅前』



目的

いまだ駅前には五月山動物園・五月山公園、池田城跡公園、緑のセンター、池田駅前公園、満寿美公園など特色ある公園がいくつもあるため、それぞれの雰囲気や特徴を打ち出し、使い方や回遊してもらう仕組みを継続的に進化させながら、各公園を暮らしやコミュニティのハブとして、来街者が足を運ぶきっかけや市民が日常の中で多様な過ごし方を選ぶことができる状態を目指します。

賑わいのイメージ

休日やイベント時に限定した飲食出店や、池田ならではの茶道体験の提供等“ちょっといい日常”にふれる機会が幅広く提供され、企業や大学等と連携したワーケーションやマイクロツーリズムなどの提供がなされることで、様々なエリアで「静と動」両方の過ごし方が叶い、充実した滞在空間が実現します。

緑のセンターなど都市公園の方向性

都市のなかにある緑を知って、つないで 「日常の特等席」を見つける



目的

さくら通りと本町通りの中間地点である立地を活かして、駅前にまつわる様々なアイデアを試すリビングラボを設置。観光情報の入手や、シェアモビリティのレンタル、休憩等ができる、まち歩きの途中に立ち寄れるハブ・ステーション機能を整備します。

賑わいのイメージ

エリアプラットフォームが運営する市民発の実験場(リビングラボ)によって、人が集まり、交流し、いろんなアイデアが実装されてイノベーションが起こっていきます。細河の植木や市内産業のポップアップの場、チャレンジの場としても賑わいます。

ポケットパークなど、まちなかエリアの結節点の方向性

情報と休憩の拠点へ

まち歩きのハブ・ステーション機能の実装

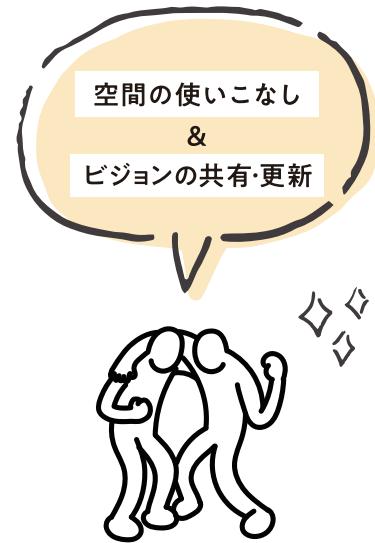


いけだ駅前がもっと魅力的になるロードマップ°

いけだ駅前の将来像を実現するため、「駅まち空間の利活用」と「まちなか拠点での交流促進」を進めながら、「未来ビジョンの共有・更新」を図り、ビジョンを日々進化させていきます。

私たちエリアプラットフォームも、まちづくりの中心的役割を担っていけるよう体制を整えていきます。

短期(~3年) 2023~2025年 暫定活用・実証期		中期(5~10年程度) 2026~2035年 マネジメント開始期	長期(20年先) 2036~2042年 マネジメント運用期
駅まち空間の利活用	せせらぎモール再整備 駅前空間の利活用	駅まち空間利活用の促進 駅前商業施設のリニューアル等	→ 空間の使いこなしとマネジメント 駅前の再々開発等
まちなか拠点での交流促進	社会実験等 ポケットパーク前での仮拠点づくり	交流拠点整備等 空き家・空き店舗の活用等	→ まちづくりの担い手確保
未来ビジョンの共有・更新	webプラットフォームの開設 個々のビジョンを収集	いけだ駅前未来ビジョンのバージョンアップ	→ 未来ビジョンの更新、スパイラルアップ
エリプラのあり方	ステークホルダーのゆるやかな集まり	自立・自走した組織 (エリプラ内に都市再生推進法人を組成等)	ビジョンに基づいたエリアマネジメント主体として活動



未来ビジョン作成、エリアプラットフォームに関わった人たち

【企業・団体等】

観光案内施設運営者、NPO法人、まちづくり活動団体、公園指定管理者、商店会、商店街振興組合、商業事業者、商工会議所、金融機関、鉄道会社、不動産開発事業者、ビルオーナー、ビル運営管理会社、通信メーカー、自動車メーカー、ベンチャー企業、観光施設管理者、不動産会社、学生団体、池田市

【個人参加(市民等)】

主婦、会社員、物販店主、大学教員、大学生、会社経営、アルバイト、市職員 など多数

